



北九州市社会保障推進協議会第24回総会

学習講演のご案内

テーマ 「地域の貧困と社会保障
— 国民健康保険改善を中心に — 」 (仮題)

講師 長友 薫輝 氏

(三重短期大学教授, 日本医療福祉政策学会副会長)

参加費無料

日時 6月8日(土) 13時30分～総会 14時30分～学習講演

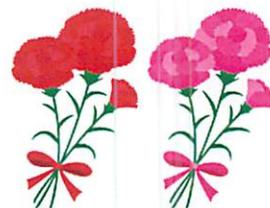
場所 健和会複合施設地域交流センター

(北九州市小倉北区大手町14-22 パークサイドヴィレッジ2階)

私たちは今をこの地域で暮らし、日本国憲法にある「平和のもとで」(9条)で「健康で文化的な生活」(25条:生存権)をしたいと心から望んでいます。/日本では少子化・人口減少の進行が眼に見えるようになり、大都市と地方との格差もいわれています。不安定雇用の拡がりの中でワーキング・プア、ひとり親・子ども・高齢者の貧困が地域の中で増大し、固定化されているように見えます。/北九州市は11年前に生活保護餓死事件を経験し、私たちは二度と再びこうした悲劇をこの地域でおこさないように生存権と社会保障を確立する取り組み、運動を続けています。しかし、安倍政権による軍拡＝社会保障費カットが続く中、今でもなお「手遅れ死亡事例」(北九州市:民医連調査)や生活保護110番に見られるさまざまな貧困事例、さらに高い国保料・保険証未交付などの実態が地域にはあります。/こうした貧困や孤立(支援が届いていない状態)を地域でどう把握し、どう支援していくのか。伴走支援がいわゆるなかで地域での国保改善や貧困の克服の課題にどう取り組むのか。/長友先生の話聞いてみることにしました。

長友先生の主な著書・論説

- ・『長友先生、国保って何ですか』自治体研究社、2013年8月
- ・『安倍政権の医療・介護戦略を問う』あけび書房 2014年(編著)
- ・「貧困・無保険者へのアプローチ」『国民医療 No.328、2015年11月
- ・「社会保障を基盤とした社会づくりに向けて」『月刊民商』No.57、2015年11月



主催：北九州市社会保障推進協議会 ◇参加申し込みは下記

電話 093-562-3966 FAX 093-562-3967 (事務局・内田：北九州市小倉北区大手町14-22)